

野洲市民病院整備に関する市民懇談会① 報告

日時：令和4年6月12日（日） 午後2時～4時

場所：コミセンしのはら

【小池】

皆さんこんにちは。予定していた時刻となりましたので、野洲市民病院整備に関する市民懇談会を開催させていただきます。

私は、本日進行務めます、政策調整部次長の小池でございます。よろしくお願ひいたします。

本日の市民懇談会は、野洲市民病院整備に関する新たな場所と方向性についてご説明をさせていただきます。その後、皆様との意見を交えていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

なお、開催に当たりまして、記録等の作成上、写真撮影と発言内容の録音又は筆記による記録などをさせていただきますので、ご了承いただきますようお願ひいたします。

では、初めに開会にあたり、市長の栢木より…。

【市民】

ちょっと待ってください。ちょっと質問。

【小池】

はい。

【市民】

広報で、懇談会は質問に可能な限りお答えしますと記載があったと。そして今回、録音させていただきますと。これはどうなんですか。位置づけ、法的な裏付けの位置づけ。意見言うたらええけども、いうただけ、聞いただけ、あるいは聞いたことを何か裏づけでちゃんと反映させるのか。その辺の裏付けをちょっと説明してください。7回もやるわけですから。ただ単に聞いただけということでしたら、二転三転しているので、意味のないことになりますので、ちょっと裏づけをきちんと説明してください。

【小池】

事務局の方。

【布施】

ありがとうございます。

病院整備担当の布施でございます。本日はありがとうございます。

冒頭、ご意見いただきましてありがとうございます。

今回、市民懇談会ということで、篠原学区を始めまして北野学区まで、七つの学区で懇談会の開始を予定しております。本日6月12日でございますので、最終は7月5日まで、実施をさせていただきます予定でございます。

本日、意見交換をさせていただきましたご意見につきましては、冒頭、司会の方が申しあげました通り、記録を取らせていただきます。その記録につきましては、概要という形で議会の方にきちんとご報告をさせていただいて、政策決定、議案の議決に対する判断資料という形でご提示をさせていただきたいというふうに思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

【市民】

しっかりと反映させてください。

【市民】

ちょっと今の、それを法的に利用できるかな。

【布施】

あの法的といいますと、根拠法令等はございませんけれども、議会議決に際して、市民意見の反映という形でご提示をさせていただいて、最終的には議会の方で関連議案を議決いただいて、政策決定をいただくというような流れでございますので、ご理解よろしくようお願い申し上げます。

【小池】

はい、それでは開会にあたりまして、市長の栢木よりご挨拶申し上げます。

【市長】

皆さんこんにちは。

野洲市長の栢木でございます。本日はお忙しい中、野洲市民病院整備の市民懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。開会にあたりましてご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から野洲市のまちづくりの推進に格別のご高配を賜っておりますことに対しまして、心からお礼を申し上げます。

さて本日は1月14日に熟考を表明して以降、ご心配をおかけいたしておりました野洲市民病院の新たに見定めた整備場所と、その実現に向けた推進方策等を、お手元の資料に基づきご説明をさせていただきます。

その前に少しお時間をいただき、この新たな方策をお示しするまでの経過と、その都度の私の判断の内容について、述べさせていただきます。

私は令和2年10月の市長選挙において、市長に就任させていただきました。その折、駅前にはぎわいを創出し、税収を図る場とし、そこでの新病院整備を行わないことを申し上げ、市民の皆様からのご信任をいただきました。そして駅前整備の代替案として掲げていた現地建替えについて、就任後すぐに公的な検証を行っていただきました。

その結果は、技術的には可能ながらも、医療を運営しながら施工することは困難というものでありましたことから、止む無く断念をいたしました。そこで立ち止まることなく、三つの候補地を示し、令和3年5月には、駅前 B ブロックで病院を整備することに優位性があると判断をいたしました。

このとき、私が B ブロックでと判断した最大の根拠は、駅前以外の場所で整備しようとした場合、病院事業債の一括償還や社会資本整備総合交付金の不交付などで財政的な負担が大きく、昨年の今頃、当時の市や病院の資金状況では対応できないとする試算結果を是と判断したことでございました。

そして市の関係計画等との調整に多くの時間を要し、病院の早期整備を望む市民の願いに応えられないと進言されたことや、当時の市議会の状況を見て、B ブロックであれば市議会に委託された駅前を望む民意にも添えると見込んだためでございます。

しかしその後、10月に状況が大きく動きました。市議会議員の改選により、議会の総意に変化が生まれ、本年1月5日には市議会の最大会派から、B ブロックにおける病院整備を速やかに断念し、新たな用地に整備すること等の要望書が提出されるに至りました。

また同じ頃、検討を進めていた駅前 B ブロックでの新病院整備の計画の草案があがってまいりましたが、駐車場がわずか40台で、車寄せも少なく、動線も極端な縦型となってしまいます。その内容を見て、これでは市民の医療を持続的に担える病院となり得ないのではないかと、憂慮するに至りました。

そしてそもそも混雑しがちで、市内各所からの車でのアクセスが困難な駅前に、全ての市民に公平に使いやすくあるべき市民業務を整備できるのか。また、野洲市全体のまち作りの起点というべき駅前南口に、本当に病院が最適な施設なのか。改めて思い巡らせるようになり、1月14日は別の選択肢も視野に、市長執行部として熟考すべきと判断したものでございます。

熟考当初の頃は市民の皆様や議員のご意見、その他野洲市内の開業医の先生を含む複数の医療関係者の方からもご提案やアドバイスをいただきながら、野洲市の将来に禍根を残さない最良の選択を目指し、B ブロックも対象に検討を熟慮しておりました。

しかし、3月議会の終盤に、野洲駅前 B ブロックでの病院整備事業の早期再開についての決議案が提出され、3月25日に賛成が7人という少数で、図らずも否決されてしまうことが起きてしまいました。私はそのB ブロックが否決されたという事実を極めて重く受け止め、そして4月に入り今日お示しする内容で整理するよう、地域医療政策課に指示したものでございます。

今回ご提案申し上げる新病院の整備場所は、野洲市総合体育館、温水プール跡地でございます。この場所は、昨年検討した三つのうちの一つの体育館裏と接近し、一部重複する場所ですが、優位点はそのままに、当初で問題とされていたいくつかの大きな課題をクリアできる場所であると考えております。そして何より、本市のほぼ中央に位置し、市内各所から車までのアクセスに優れ、市街化区域に隣接した利便性の高い場所であり、新病院の優良な整備場所であると考えております。

この提案は本市のまち作りに関わる政策の大きな変革であり、新病院整備と、駅前のにぎわい作りという二つの大きな課題を、健康を基軸としながらも事業としては住み分けて推進しようとするもので、市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとしつつ、駅前でのにぎわいと税収を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちの創造を可能とするものであります。

本日はこの新たな方策の内容をお聞きいただくことで、これまでご心配いただいたご懸念に、ご懸念頂いていたことを払拭していただけたらと思っております。長くなりましたが、本日は本計画の実現に向け、皆様方には忌憚のないご質問やご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。

お時間をいただきましたことへのお礼と冒頭のご挨拶といたします。この後の内容を担当部からご説明申し上げますので、よろしくお願いを申し上げます。

ありがとうございます。

【小池】

はい。それではここで事務局を紹介させていただきます。

野洲市長の栢木でございます。

【市長】

どうぞよろしくお願いいたします。

【小池】

副市長の佐野でございます。

【副市長】

佐野でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

健康福祉部政策監の布施でございます。

【布施】

よろしくお願いいたします。

【小池】

健康福祉部次長の駒井でございます。

【駒井】

おはようございます。

【小池】

政策調整部長の赤坂でございます。

【赤坂】

赤坂でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【小池】

そして私は政策調整部次長の小池でございます。

その他、地域医療政策課、企画調整課の職員計3名が出席をしております。名札を着用しておりますので一人一人の紹介を省略させていただきます。

それでは市民懇談会に入らせていただきます。入口もしくは椅子の上にお配りしております資料ですね、三つございますが、それに基づきまして、モニターを使いながら、地域医療政策課より説明を申し上げます。

【 以下、説明は省略 】

【小池】

それではここからは皆様からご意見ご質問等をいただければと思います。順番にお伺いしますので、その場で挙手をいただきまして、係りの者がマイクを持っていきますのでご発言をお願いいたします。

それではどうぞ。

【市民】

ご説明をしていただいたんですけども。この間ですか、市から市県民税払えというふうな用紙が来ました。もう病院の話も二転三転して、税金の全くの無駄遣い。税金払うのが阿保らしいなど、正直。これ、多くの人が、そういう気持ちではないですか。立場は知りませんが、二転三転している。リーダーシップがないじゃないですか、基本的に。というふうに感じてます。

皆さんはどういうふうに、ご参加いただいている皆様どういうふうに思われているか。どこに整備しようが、体育館に整備しようが、二転三転して無駄な時間ばかり、税金ばかり使って。今日も出社してる市職員。君たちにも給料を払ってるねん。本来なら君たちに払わんでもええもんを、基本的に私はそう思ってます。

それからいろいろ説明がありました。ありましたけども、今日ご参加の中にも…。私医師会からの回し者でもないですよ。総合体育館横に新しい市立野洲病院は建てられない、こういうもん(チラシ)が。新病院はあそこでは無理です。まず、今度の建屋はね、体育館とか、簡単な建屋だけではないんです。建てたら、医師をはじめ、多くの医療スタッフが必要になります。そのためには、医師会から強力な支援をもらわないかんのです。

例えば、近隣で言うと大津市民病院で、もう京大からは、お前のところはもう外科関係は皆引き上げや、と引き上げました。医師会とはそういうところなんです。私も医療関係で30何年、お医者さん探したとか薬剤師探せとか、看護婦さん探せとか、もう大変、人探しが大変でした。

そしたら医師会の協力を何故、得られないんですか。いろいろ説明があったけどもこういう反対が、なぜ出るんですか。反対が出る前に、市長をはじめ、議員も含めて、きちっとコミュニケーションを取る必要があるんじゃないですか、もっと早く。ここは取れてない、こういうもの(チラシ)が出回ってるとはどういうことなんですか。あなた達の説明が十分でない。医療関係者に医師会に理解されてない。皆さんそう思いませんか。そりゃ医療関係者でない人は、建築のこともなんやかんや含めて説明したら、なるほどそうかなと思うかもわかりません。しかし、肝心の医師会から協

力を得られないのはどういうことですか。基本的にその辺のコミュニケーションが、いかように説明されようとも、取れてない。

今のところで整備したいというなら、医師会の賛成を得てください。どうぞ喜んで協力しましょうと。その協力を取り付けてください。そうでなかったら、市長をはじめ、議員の人も、2期か3期で辞めていくんですよ、基本的には。医師会の人たちは医療で飯食ってるんですよ。真剣ですわ。言うて悪いけども、2期か3期でさよならと言う方と、医療専門にした人と。あんたら（市の職員）だって、異動したらしまいですわ。医療で飯食っている人は、医療を真剣に考えてるんです。

議会で説明されるんなら、医師会の協力をきちっとしてください。喜んでご協力しましょうという。それなら、あなたのいう説明もそうかなあと思ったりもする。そうじゃない、あんたたち素人の人が説明しようが、医師会の支援を取れていないということは、今のことがきちんと医師会に相談されない。そこが大きな問題です。

悔しかったら、医師会の協力を取り付けてください。議会もはっきり言うってってください。以上です。

【市民】

今の方、なんという方ですか。答弁される前に、ちゃんと名前を言われてください。

【市民】

なら、始めにそう言うといってください。

【市民】

言うておいた方がいいと思います。そういう僕の意見です。

【小池】

すいません、今ご意見いただきました。次からはすいません、発言いただくときには、挙手・お名前をいただきましてからのご質問のご協力をよろしくお願いいたします。

【市民】

せやからこんなして（頬杖ついて）話を聞いとるんや、副市長。もうちょっと謙虚になり。

【布施】

はい、ありがとうございます。布施でございます。

守山野洲医師会様とどういった協議になっておるのか、というようなご心配でございます。と言いますのも、先般からの新聞折り込みですけども、各戸配布されたチラシ、広告意見が配布されたというふうに私どもも承知しております。これは発行元を確認させていただきますと、医師会直接ではございません。けれども、医師会様も協力をされて、確認されているというようなことでございました。

しかしながら、今回、第2段のチラシが出されておるんですけども、今日ご説明をさせていただきました内容につきましては、ほぼ網羅的にこういったご意見に対して、根拠ある資料という形で、議会の特別委員会、5月18日の段階では、ご説明をさせていただいてる内容でございます。

それ以前に編集された内容でございましたので、今回齟齬が発生をしておるのかなというふうに思っています。このことにつきましては、守山野洲医師会様に対しまして、是非とも懇談、説明をさせていただきたいということ、従来から申し上げさせていただきました。6月の先般、9日の日ですね、市長副市長をはじめ、私どもも医師会の理事役員会がございましたので、その席でご説明をさせていただいたところでございます。

その内容につきましては、一部新聞報道の方でも発表されておりますけれども、全体的には医師会会員としては今の段階では賛同できないというご意見もございましたけれども、私どもも出席をさせていただく中では、市内の先生方、診療所の先生方からは、積極的に今の提案の内容で進めてもらいたいというようなご意見を頂戴したところでございます。さらに根拠立てた計画をもっと説明してほしいというようなご意見を頂戴いたしましたので、基本計画の中でそのあたりの精査をして、再度、説明をしたいというふうに思っております。

従いまして、医師会様におきましては、ぜひともご協力いただきますように、引き続き努力を進めてまいりたいというふうに思いますので、皆さん方につきましても、ぜひともその点をご理解をいただきたいなというふうに思っております。

以上でございます。

【小池】

はいそれでは次の方。

【市民】

近江富士の■■■■と申します。ちょっと座って、進めさせていただきます。

今、医師会のことについてのご意見についてですね、ご意見ありましたが、私も同感です。特に先日この懇談会の件ですね、市長の方から昨年10月ですね、議会選挙で民意が変わったということ、堂々とおっしゃってましたが、とんでもない話だと私は思います。

なぜなら、あの選挙にですね、創政会の議員さん方は、病院のことについて公開質問を出されていたにもかかわらず、全く意見を出しておられないんですね。空白で回答なんです。それこそ民意を胡麻化しておられるんですよ。それをもってですね、民意が変わったと。市長がそんなことを言うのはとんでもない話だと、私は思います。

次に、市長の進め方についてですね、非常に疑問に思います。というのは、今年の初めですか、パワハラ問題が取り上げられました。それで担当の管理職もですね、一人か二人、退職された。で、意見を聞かない人は、切る。その次には、川口前副市長が退任されましたね。いろんなご意見をおっしゃったけれども、市長はちっとも聞かないと。これじゃやっておられないということで、体調を理由にですね、退任されましたけども。そんなことです。

それから、今回の計画するにあたって、先ほどの医師会の問題もありますし、それから野洲病院の関係者、院長をはじめですね、全く意見を聞いてないと。この前、議会に提案されるについてですね、全然聞いてないですね。医師会の話もしますけども、事前にやっぱりね、以前からこの元々

B ブロックでやりますと、医師会の役員会で市長は表明したわけです。それをね、熟考。何カ月ですかね、6ヶ月ぐらいありましたね。それでひっくり返してやるなんて。なんら医師会に説明もなく、議会に出しちゃう。

そして、野洲病院もですね、院長以下、関係者の意見を何も聞いてない。その前には B ブロックでやりますから安心してくださってという話を、院長をはじめ、職員さんに医療関係者に全部話してたわけです。ところがですね、事業管理者を新たに設置する。それから顧問ですか、計画するのにですね、顧問を雇用するとか。こんな、とんでもない話だと思うんです。結局ね、市長は自分の意見を聞かない人はどんどん切ってくわけですよ。前副市長、そうですよね。

それから、わざわざね、事業管理者、議会のときに福山病院長おっしゃってましたよね。これぐらいの規模だと、事業管理者はわざわざ置かないところが結構あるんですよと、私がやりますよ、と言ったら、市長がね、いや自分がやるからいいと、そんなことだった。言うのにですね、それをわざわざしちゃう。福山院長を切るつもりじゃないかなと、市長はね。あるいはね、院長は辞めました、やってられないですねと、方針にね。そういう事態を引き起こすんじゃないかと。そういうことをね、抜きにしてこんなね。それこそプール跡地ありきの計画ですよ、これは。医療関係者に何も聞いてない。これはとんでもない話だと思います。もう一度ね、やっぱり一からやり直してもらわんといかん。議会がね、民意を反映しているなんて、とんでもない話だと思います。ね。選挙前にも、創政会でしたかね、その方たち、何も意見に対し答えなかった、胡麻化していたわけですよ。そして当選した。これが民意を反映したと言えるんですか。皆さん方、どう思いますかね。

ぜひもう1回、原点に戻るべきだと思います。

【布施】

ありがとうございます。ご意見として根本的な話も含めてのご意見というふうに確認をさせていただきました。

ただ、2点だけですね、ちょっと私の方からご説明追加をさせていただきたいんですけども。まず医師会様との懇談の中でもそうだったんですけども、医療現場の声が反映されていないのではないかなというようなことがございます。

その点につきましては、今の段階はですね、これまで市長の熟考の中で検討していたものを、今回初めて、新たな政策方針として、ご提示させていただきました。今後はこれを踏まえまして、基本計画の成案に向けた手続きを進めてまいります。その中で、十分そうした現場の声も含めて、ご意見を聞きながら、事業を精査してまいりたいというふうに考えております。

そして、事業管理者の関係でございます。これにつきましては、今般の議会におきましても、条例制定改正等の予定をさせていただいて、その案件を、現在、議案上程をさせていただいております。議会の中でもご審議を賜る案件でございますが、事業管理者と病院長という二つの役職がございます。

これにつきましては、滋賀県に13の公立病院がございますけれども、私どもの市立病院だけ、事業管理者が置かれていないという状況で、その代わりに市長がその役割を果たすような状況でございます。これを本来あるべき姿といいますか、医療関係者の方に事業管理部門を担っていただいて、今後新病院の整備に向けた経営の強化を図っていこうというような趣旨で、今回、条例改正を挙げさせていただいたところでございます。

以上少し補足になりますけれども、ご理解いただきたいと思っております。

以上でございます。

【市民】

先ほど市長が、民意が変わったとおっしゃったことについては。

【小池】

はい、市長、お願いします。

【市長】

市議会議員選挙の折にアンケートを市民団体の方が送られたということは、後々お聞きしたんですけど、それにお答えされたか、されてないかっていうのは、私から何ら申し上げることはできないんですけども、議員の皆さんのところにも回りもさせていただきましたし、いろいろお話をさせていただきまされたけど、やはり後援会なりそういうところでは病院問題のお話はされておられました。そういうことも踏まえて、私は民意であるというふうに思っております。その議員一人一人の方に、付託をされておられるわけですから、その議員の皆さんが新しい病院についてご賛同いただくということは、それは民意だというふうに思っております。

以上でございます。

もう一つ何か言われましたよね。人を変えるっていうこと。辞めていったことですか。それは私が別に辞めて下さいって言った覚えもございませんし、いろいろ思いがあって辞められたというふうに解釈しておりますけれども、決して私から辞めていただきたいとかそういうことは申しておりません。

ご本人にお尋ねいただいたらいいと思うんですよ。パワハラのことについては、今、第三者委員会をしていただいておりますので、ここでのコメントは控えさせていただきますけども、にわかに辞められたこと、副市長、前部長が辞められたことに対して、私が辞めよとか、そういうことを申し上げたこともございませんし、ご本人に一度お確かめになられたらどうですか。私は、辞めろ、辞めてくれと言ったこともないですし、今でもお話もしてますし、メールのやりとりもしてますし。そんな嫌な雰囲気でのことはなかったです。いろんな思いがあってお辞めになられたということでしょう。慰留はもちろんしました。

以上でございます。

【小池】

はい、どうぞ。

【市民】

篠原の、小南の[]です。[]の[]をしております。スポーツの観点から、先ほど説明につきまして、二、三、質問とですね、意見を言おうと思います。

栢木市長もですね、本部長をされてますんで、スポーツに関しては見識があるというふうに思っております。

ただ、今回、野洲市の総合体育館に隣接して病院を建てるという案を提示いただきましたけれども、あのスペース、十分あるという説明だったんですけども、現地を見られた方はよくご存知だと思います。縦長です。

横幅50mとおっしゃいますけども、目一杯カーブまでいったらそこまであるのかもしれませんが、そうするためには、体育館の建屋からね、本当5mからいかないとか向こう50mいかないんですよ。本当に狭いです。こういう中でね、あそこにもし建てたとするならば、体育館の入り口、今の入り口が死んでしまいます。意味わかりますか。入り口はですね、やっぱり体育館の顔なんですね。今、2階への屋外階段がありますね。あれを壊して手前に建てると、手前に事務所の上を上げられるようにするというような案を提示いただいているようですね、そういう説明はなされなかったんですが。だからね、あそこに境界線を引いてしまうと、全く体育館の玄関の機能は死んでしまいます。病院とですね体育館、例えば体育館で休日の大会をやるから病院あんまり関係ないですよ、病院は平日午前中に多いからあんまり影響ないですよ、これは全く違います。体育館で大きな大会をするためにはいろんな観客もたくさん来ます。で、わいわい騒ぎます。今はね、コロナ禍でちょっとわりかし静かですけども。病院もですね、そう騒がれて、入院される方とかね、そういう方に影響あると思います。

また、体育館で大会をしている人にとってみれば、救急車が入ってきたときにサイレンは落とされます。だけど、やっぱり気になりますよね。動線、入り口がね、川から病院の入り口まで30m、測ってみたら20mちょっとなんです。20mで入って、ロータリーを作ったら大変です。そのためには体育館のスペース、ほとんどなくしてしまわないとだめです。

ここでですね、今日午前中に野洲文化ホールで、ちょっと話が逸れますけれども、文化ホールと小劇場、さざなみホール、これを一本化する、すなわち野洲文化ホール、文化小劇場をつぶして、さざなみホールに一本化するという案が提示されました。そういうのを、私、ちょっと出てきたんですが、出席者は20名ぐらいです。こんな大事な話をね、たったの20名ですよ、参加者は。これ、どういうことですかね。6月1日の広報で、その説明をしますというのがあったんですが、やっぱり市民の方に、もっと周知徹底する必要が、僕はあると思います。で、駅前開発をどうするかっていう全体をセットで説明しないと、なかなか難しい。先ほどこれから駅前開発をこういう方向性でというのは説明があったんですけども、これから検討委員会を開いてやっていきますということですけども。どうしても駅前に病院を建てないとするならば、体育館の可能性としてはね、もし体

育館しかないならば、体育館の裏です。裏に建てて、駐車場を、今、田圃になってますよね、あそこを買い取りか何かして駐車場を作って、動線は裏から持っていかないと駄目です。

こんな入り口に二つの動線を作ったら駄目です、体育館と病院は。というのが提案です。まだ検討いただきたいと思いますけれども。はい。

もう一つ、国体。国スポ。やっぱりね、国スポやってる時にね、工事やります、壁ひきます、こんなカッコ悪いのやめましょうよ。もしそこにやるならば、やっぱりそれはね、ちょっと半年なりずらせばいい話なので。ましてやプレの大会をやります、前年には。そのためには、皇太子はね、そういう方もいらっしゃいます。ここにいらっしゃるんですよ、国賓が。それはね、それなりの格好をつけないとだめだと思います。以上です。

【駒井】

はい、ありがとうございます。私の方で答えられる範囲で。基本的にはご意見として、しっかり持ち帰らせていただきたいというふうに考えてございます。ここでは、お答えできる範囲で申し上げたいなと思います。

まず病院の用地なんですけども、6,400㎡と言いました。これはいわゆる建築確認の際に敷地境界とする部分の面積として考えております。いわゆる建ぺい率、容積率を確認するためです。実際はできるだけボーダレス化したいと思ってます。敷地境界がないように。思い出していただきたいのは、温水プールがあった頃は、そこまで温水プールの建物があったわけです。病院の体育館側については、基本的に壁面、あるいは入り口も全部、川の方へ持っていきたいと考えております。車両動線も当然、その間を通しません。

ですから、ここの間はボーダレス化しますから、温水プールがあったときのイメージで、いわゆるトレーニング・ヤードであるとか、確保できるように考えております。

全く当時と同じか、面積が寸分たがわずということはないと思うんですけど。ちょっとその辺はご理解いただける範囲で努力したいと考えております。

それから、縦長の用地とおっしゃいました。病院という施設には、四角い建物っていうのはないことはないんですが、実は少ないんですね。といいますのも、病棟っていうのは、真ん中に廊下が走ってます。その横に病室があるわけですね。

そうすると大体、専門家もおられますのでよくご存知だろうと思いますけども、四角い建物だったら、Aブロック病院がそうだったんですが、H型の病棟階だけを別に独立させたりするわけです。あるいは口の字型、大津市民病院は口の字型だったと思います。で、今回のこの形は、最初のBブロック病院はまっすぐのI型で、これはZ型と言われるよくある病院の形です。ちょうどイメージで言うと、病棟が二つはまるような、各階に二つはまる形なんですけども。これ別にいびつな形でもなく、なおかつ押し込んであるわけでもない。無理やり細くしているわけではないということ。病院に必要な幅員は50mで十分確保できているというふうに考えております。

もう一点、駐車場のことがありました。これも当然、体育関係の方にはご迷惑をおかけする、ということは間違いのないと思っております。ただこれは、あんまり言っちゃ駄目なのかもわかんないですけども、今回この計画をするにあたりまして、実は県内の体育施設、いわゆる大規模体育館と言われるところの駐車台数を全部調べました。そしたら、例えば野球場も併設するスポーツ公園はすごい数の駐車場を持ってるんですけども、草津にしても栗東にしても、湖北にしても、野洲市の総合体育館のように、現状で現状500台を超える駐車場を持っている、豊かな駐車場を持っている体育館は、さすが野洲市だけでした。昔、お金があった影響かと思うんですけども。そういったところから考えて、様々な工夫をすること、他所の町はもうやっておられます。

これは野洲市民の方にお願い、スポーツ施設管理者にお願いをするしかないんですけども。何のためのお願いかという、地域医療のためにお願いということで、ご協力をいただきたいというふうに考えているところでございます。

あと、裏の駐車場に病院を、せめて持って来るならば裏の駐車場に、とおっしゃった部分でございまして、おっしゃいますように、そのような案も当然ございました。ございましたが、今日申し上げたような課題が払しょくできなかった。文化財がひっかかってくる、上水下水の管が細い、接道がない。そういったことから、そこは無理だという評価が既に為されているところでございまして。そういったところから、今回のところに持ってきたということをご理解いただきたい。

あとおっしゃる国体期間中、工事はいたしません。また決してかっこよくはないと思いますが、何とか努力して、皇族方がお見えになっても恥ずかしくないように整えるように、工事業者と調整していきたいと考えているところでございますので、どうぞよろしくお願ひします。

と、もう一点、救急車の音ですけども、当然敷地の中に入りましたら、救急車は音を止めます。市道・市三宅小南線を走っている間は当然音がしますけれども、それは今の状態でも同じかと思ひます。尚、野洲病院の救急車ですけども、ここ2次救急の病院でございまして。近江八幡市民病院とか済生会病院のように、救急車が何台も溜まるような病院ではございませぬ。確か記憶の範囲ですが、Aブロック病院の時に持っていたデータでは、1日1台ないかあるかだった、というふうに思ひますので、その辺りはそれほど迷惑にならないんじゃないかと考えているところでございまして。ご意見として総て持ち帰らせていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

【小池】

はい。その他ご意見、はい。

【市民】

はい、失礼いたします。篠原学区の[]の[]でございまして。

よろしくお願ひいたします。

新たな形で、病院の方向性が検討されたということについては、いいんじゃないかなと思ひます。

今までも、検討は、いろんな形で案が出ていたような状態でしたが、市民にここまでの詳しい説明は、今まで私は知らないです。はっきり言って。いろんな条件があるんだらうと思うんですけども、一つの方向と姿勢として出てきたことについては良かったかなという思いがします。

ただ、ここで建てられると言ったときの条件の中においてですけれども、先ほどの国体の問題とかいろんな問題がクリアしていかなければならないだらうと思うんですけども。ただ私が今感じている中において、こういったふうに、病院がこういった場所が変わったということになったときに、今の市が、昨年作り上げました野洲市都市整備計画との関連性はどうかやっつたんやろうと。都市整備計画を大きく変更しなければならぬんじゃないかなというふうに思います。

まして、高専の方が今度新たにですね、野洲市が大変有力な候補地。というような形になったときに、学校がそこに出来るわ、こっちに病院が出来るわというふうにして、大きく野洲市の全体の構想が変わってくるんじゃないかなというふうに、僕は思うんです。そうなったときに合わせてですね、病院をここに置くことによって、こういったふうに街が変わりますよ、こういうふうに街を発展させますよというような、そういう都市整備計画を新たに作り変えなあかんのと違うかな、というような感じがします。そういった案を、やっぱり示していただかないと、住民はなかなか納得できない。なんでここに病院を造らなならぬんやと。やっぱりそういうものが必要かなというのと。

そしてもしここに作られるとしたらですね、リハビリも兼ねてということになってきたら、健康ゾーンという位置づけにされたらどうか。ここに公園は何でできないんだらうと。病院関わる人たちにとってはリハビリを兼ねてるんやったら、公園があつて然りじゃないか。そういった画もなんで描けないんだらう。施設をここに持つていくことだけしか画が描けてないところにもう一つ難点があるんじゃないかなと、そんなふうに感じますので。そういうような画も、やっぱりできたら考えて、市民に示していただけると、市民はある程度そういった面での理解が深まるんじゃないかなというふうに思っています。

すいません。

【赤坂】

はいご意見ありがとうございます。政策調整部の赤坂でございます。

皆さんにお配りしております一番ボリュームが多い資料でございますが、この資料の18ページをご覧いただきたいと思います。

ただいま■■■■様の方からご指摘ございましたその計画ですね、18ページにございます新病院の事業、それからその2段目に、関係計画ということで、市の総合計画、あるいは都市計画マスタープラン、これは先ほど都市計画と仰っていた計画でございますけれども、それと駅前の周辺整備構想と。関係の計画につきましては、今の病院のこの提案に際しましてですね、もう一度大きい意味で市全体のランドデザインといいますか、総合計画を見直す必要があるのかないか、その議論を検証した上でですね、必要になる場合につきましては、そこは見直しをします。

それに連動しまして、野洲駅前南口構想、この計画につきましても同様にですね、今回提案させていただいてるこれが整った折にはですね、今の計画は病院が駅前にございますけれども、場所が変わることによって南口に病院がなくなる時に、その後駅前をどのような形でしていくのか、その分も含めてですね、見直しの方させていただき、その見直しも実際先ほど病院の方で説明ございましたけれども、今回このような説明をさせていただいて、6月のこの今の議会で予算の方を上げさせていただいて、その予算を持ちまして、病院の基本計画の見直し、駅前から今提案しているところのこの見直しがしっかりいけるのか、そこの見直しをさせていただいて、病院の方向性が決まった折に、今度は駅前の関係、あるいは大きい意味での計画ですね、こちらの方の見直しの方も、予算を確保しまして見直しの方をしていく、そういう手順ですね。進めさせていただこうということにつきましては、段取りの方はさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思います。

【駒井】

ちょっと病院の方から報告をさせていただけたらと思います。ご意見いただきましたように、この辺りを健康ゾーンにというご提案をいただきました。大変素晴らしいご意見かなと思ってございます。具体的にはまだ実は書ききれてないんですけど、今日配りしております詳しい資料の34ページ一番下のところでございます、 が仰るように、決して施設を単体で整備して行き当たりばったりということではございませんで、まさにおっしゃる健康ゾーンということを我々もこの資料を作る段階で何度も語ったことがございます。野洲市の都市計画マスタープランの将来構想というのがあるんですが、その将来構想のところでは、この体育館のところまでは行き及んでないですけども、丁度おっしゃるこの周辺地域については、何らかの非居住系用途といった形で伸ばしていくまち作りを進めたいエリアになってございます。

そういった中でも提案いただきました公園というのは大きなご提案かなと私個人的に思っておりますし、素晴らしいなというふうに思っておりますので、しっかり持ち帰らせていただきたいなという風に思っております。以上でございます。

【小池】

その他、ご質問ご意見ございますでしょうか？すいませんちょっと時間もだいぶ迫ってきておりますので、皆さんの声ご質問をお受けさせていただこうと思いますが、今お2人いただきましたけれども、それ以外でお考えの方おられますでしょうか？

そうしましたらすいません。それじゃ今、3名様いただいておりますので、その順番にお伺いをしていきます。

お願いいたします。

【市民】

座ってすいません。大篠原の と言いますけれども。

市長の今までのね、市長の姿勢を見てるとね、当初立候補されて当選された方針と、それからその方針が駄目になったから B 施設にね、病院の話ですけどね、B 施設に変えますと。また B 施

設は最大会派の賛成が得られないので、今度はプールの跡地に。そんな方針を一転二転三転してるわけですよ。全く市長が悪いのは、方針どうなっとなねん。私らはそういう風に考えます。

それと、先ほど■■■さんから話ありました体育館の問題。うちの息子もちょっと■■■の体育関係の■■■させてもらっとるんで、話しとったんですけれども。病院を持って行くということは、■■■さんの言うておられる意見に賛成ですね。全国で体育館とかそういう施設の端に、病院はあんまりないんじゃないですか。もう近隣で。そういうイメージ、あまりいいとは思いませんよ。

それと調査されましたか。病院と体育館が隣接したところがあるかどうか。多分あんまりないと思いますよ。あの、やっぱりね、もうちょっと市長、しっかりください。

以上です。

【小池】

はい、市長、よろしくお願いします。

【市長】

■■■さんありがとうございます。当選してから、現地建て替え、そして B ブロック、そして今回、体育館プール後ということで、二転三転するのはいかんのちゃうかということなんですけども。私、何が何でも、ここ最初に言ったところ、何が何でもそこへ整備するんやっていうのは、本来無いんですね。やはり状況状況を見て、その社会情勢もあります。いろんな状況を見て、もちろん財政の状況もある、キャッシュフローのこともあります。だから市民にとって、将来市民にとって禍根を残さないのは一体何が一番いいかなということで、当然それをまず第一に考えてきました。先ほどからいろんなご意見をいただいていますけど、どこでもお聞きするのは早く整備してくれと。もうこれ10数年、この病院問題で市を二分しています。その真っ只中に、私、入らしていただいてから、まだ1年7ヶ月なんです。市長やらせていただいてから。その中で何とか子孫に対して禍根を残さない一番いい方法は何かいうことで、常に考えた上で。去年の5月 B ブロックで整備の表明をさせていただいてから、この1年の間に財政状況、キャッシュフローはずいぶん野洲市も変わってまいりました。

その前に当選したときには、基本は駅前に病院を整備しないということ、一丁目一番地でさせていただいたというのが、本来でございます。先ほども簡単に申し上げましたですけども、その選挙のとき、平成28年の選挙のときは、とにかくあの駅前には駄目なんだというだけで原則相手に戦わさせていただいたんですけど、落選いたしました。2回目、挑戦させていただいたときの状況というのは、もう最初っから次も選挙に出るっていうのはなかったんです。ただ、不落になったという大きな原因があって、立候補させていただきました。

その時に私を支援していただいている後援会の中から、市民の皆さんに訴えるのは、駅前には病院が駄目だけではなかなかご理解いただけんやろ、何か対案をせないかんよということで、現地建て替え。じゃあなぜ現地建て替えというのを出したんだっていう話なんですけども、当時いろんな議論している中で、都会、要は大阪とか東京とか大都会の中で、その市街地中心地にある病院は皆、

現地建て替えをしています。なぜか言うと土地がないから現地建て替えをしているということを聞いて、そのときに調査しました。現実的にできるということはわかりました。だから野洲でもできるんじゃないかということで始めさせていただいたのが、現地建替え。お聞きいただいていますか。それがそのときの公約です。確かにあまりいうことやったかもわからんですけどもそれを断念をして、先ほど申し上げた形で順次。今回この体育館の横、プール跡地で整備させていただくということに準備させていただいたという経緯でございます。

以上でございます。

【市民】

ちょっと、よろしいか。現地があかんということでしたら、B 地区がなんで出てくるんですか。他の地区が出てきてもええはずだと思いますけども。

【市長】

現地在駄目だから、直ぐに、B 地区を言ったわけやないんですよね。あのときは…。

【市民】

いや、そやけどね。

【市長】

聞いてくださいよ。あのときは苦渋の選択をしたんです。それ何か言うたら、繰上げ一括償還とか、社資交の問題とか、いろんなもんがありました。そういう問題があった上で、苦渋の選択をさせていただいたと。だから、私、B ブロックで整備するのにも、いろんな課題があると。その課題がどうなるかっていうことを見極めたいということを書いてたんです。それがその課題はどうやったんかということで、熟考に入った一つの原因でもあるわけです。

以上、お答えいたします。

【市民】

いけませんね。現地があかんのやったら、他のところも併せて考えてね、B 地区、なんで B 地区なんですか。

【市長】

だから、他のところを合わせて検証してですね。あのとき、三つ出しました。もう覚えていただいているかわかんけど、三つ出しました。三つ出した中で、そういう資金的な問題が一番大きかったということで。その時、もう本当に基金が枯渇してたんですよ。もう本当に厳しい状況だったんです。だから、資金がない状況で繰上償還ができないじゃないかということで、B ブロックでまず整備する方向性を示し、これも早くせないかんということが大きな一つの要因やったんですけどね。

過去のことはそういう説明やったということの説明をさせていただいてるんです。今はもう体育館のプール跡地で整備させていただくということで、進めさせていただいてる、ということでのご理解をいただきたい。

【駒井】

すいません。ご質問いただきました、全国の体育館横病院の事例でございます。正確にリストアップするような調査はしてございません。今申し上げた、多分全国的にないと思われるというふうに申し上げました根拠を申し上げますと、おそらく40年以上病院の設計を中心にされている設計技師から得た言葉でございます。

その方は数百件以上の病院設計の責任を担ってこられたと思いますけれども、その中に隣が体育館だったところはなかったと言われたことを根拠に申し上げております。

先ほどね、■■■■■のときにご答弁をさせていただきましたけれども、本当にお隣さんの施設としてしっかりやっていかないとあかん。これから、そういう認識をいたしておりますので、整備の段階で、隣囲いをどうするのかというのもあれなんですけども、どういう形でお隣さんとの境界、あるいは連携を保っていくのがいいかということ、本当にこれはしっかりとしっかりと…。

【市民】

イメージ的なものですよ。体育館とね、病院が密接するのは。イメージ的なものですね。■■■■■さんも言われたようにイメージ的なものですよ。

【駒井】

イメージとおっしゃいますと、病院が、何かよくないみたいな、そういう…。

【市民】

それもありますよね。

【駒井】

すいません。なかなか難しい。それぞれの考えだとは思いますが、このお話は、実は駅前で病院を、実は私は駅前病院の担当もしてたことがあるんですけども、駅前で病院をやっているときも、駅前に病院は、ある方がおっしゃったのは、似つかわしくない。こういう反対の意見が多かったんですね。私はそれを全く理解できませんでした。そんなことはあり得ないし、全くおかしい考え方だと思います。人が生まれて、人が治して、人が病んで、人が死んでいく。生老病死の姿がそこにあるわけでございますから、その施設をもって汚らわしいなど、或いはよくない場所ということをおっしゃることは、これはいささかどうかと思うわけでございますが。自信を持って、どんな場所にあってもおかしくない施設が病院だと思ってございます。ですからスポーツ施設と連携をして、相互に連携をして、良い関係で整備をしていきたいと考えておるところでございます。

以上でございます。

【市民】

体育館と病院と併設して、それが本当にあるのかといたら、それはないと思うんです。

僕は質問でね。体育館自体は、市民体育館みたいな、こういう大きな施設の隣に体育館というのはほとんどないと思うんです。でも、病院の横に体育館として体育施設としてのあるところはいくつもあります。それは何かいうたら、リハビリのための体育施設。だからそういった姿勢から考え

たら、僕は体育施設が良くなるということは、これは全国に誇れる、いい施設になる可能性を持つてるなという思いを持っています。可能性です。持っている思いは。体育施設イコール病院があるのは全て反対というんじゃないと、僕は思います。それをどういうふうにご利用し、どういう形かということは、考えたら僕はいいかなと思う。だからそういう面での感覚というのはあってもいいかなという思いなんです。感覚ですよ。僕はそんなあってもいいかなというふうな思いは持っています。

【市民】

ちょっとええかな。

なんで、全国で体育館の端に、病院が出来てないのか。それはどういうあれか、考え。ほんとうに調査されましたか。

【副市長】

すいません、副市長の佐野でございます。

先ほどちょっと資料が見えにくくて、前のめり込む形で申し訳ございません。失礼致しました。今、体育館と病院のお話ございました。事例がどこまであるか、全国的な部分ございますけれども。現在ですね、国体に向けて、滋賀医大ちょうど目の前に、新県立体育館というのを、今整備して、ほぼ今年の秋ぐらいに出来上がるかなと思います。

まさに国体のメリットまでは言いませんけども、大きな改善になるところでございます。その場所に作る時もありますね、やはり滋賀医大さんとの連携、こういったものを将来的な高齢化を見据えたですね、スポーツを健康の視点から捉えるという視点も含めてですね、様々な将来的な連携をしていこうという形で、そちらの方に整理をし、今その連携政策をいろいろ県でも考えられている、こういう状況でございます。

今までなかなかそういう事例はなかったかもわかりませんが、今、 おっしゃっていただいたように、将来的な可能性っていうのは、十分あるのではないかなと。逆にこういう部分でこういう提案ができるんじゃないか、というところもいただけたら。こういう形に思っております。以上でございます。

【小池】

すいませんあと、お2人様。

【市民】

すいません、南櫻の です。私、一主婦ですがね、もういろんな人から、まだ野洲病院決まらへんのか、あちこちの人から言われるんです。福祉センターが今の消防署の前にね、あそこに決まるときに、建築関係の事務に行ってたんです。そのとき、最終的にはこの道が野洲市のメインになるぞって言われました。図書館も来ました。順番に仕事をしてきました。それでそんな話する中で、今、体育館横に病院も。私、南櫻なんですけど、もう何時でも判子押すから、今は田圃なんですけど病院持ってきたらいいやん、って言ってたけど、野洲の一番中心になるところ、その意味では OK かなあとと思います。

これは質問に対して返事していただくんじゃなくて、平成24年に山仲市長さんが当選された後、病院の話が出てまして、なんか面談があって、みんなが聞きに行ったとき、その時私は学童の指導員をしてました。野洲の学童で2、3年目だったかな、エレベーターがついてて、クーラーが効いててすごい立派な学童なんです。それをどうされるんですかと手を挙げて聞いたら、潰しますと、簡単におっしゃったんです。それ、もっと計画的にね、10年先を見据えて、何かものを建てるべきじゃないのかなと私は思いました。そういう意見を言う場所とかは、あんまりないですよ。こうして、初めてこういう会合に来て、何かこう、体育館と病院の話というよりも、どうでもいいから便利に、何かこうバスも回してもらって。私らも歳いってきますから、早く建てて欲しいなあという感覚なんです。もう市民の方が半分以上、特に郡部に住んでる、田舎に住んでる者は。

山仲さんがそのときおっしゃったのは、愛知県に見学に行った、地下から有名なロットのコーヒーの香りがして、素敵な病院でしたって。人口の比率が違いますよね。大阪の地下街を見てきて、野洲なんて地下道も造らなアカン、そこに見えてますから。そういう発想から駅前っていうのがすごいクローズアップされたんです。それで28年。で次、落選された時に、その関係者の方が、実は、一生懸命やってはる知り合いがいるんですけど、その知り合いの人たちから確認しときっていうのはちょっとおかしいけど、人の考えですから、もう前に進まなアカンでしょっていう話をしてるんです。

私も学童にしろ、いろんなところで機会があって、山仲市長さんと喋りましたけれど、前向きさがない。こうだと言ったら、これだけ。だから栢木市長さんがコロコロ変わってるとかじゃなくって、三つの中で体育館ええやないかと。ちょっと周りのね、それはごく一部ですがわかりませんが、とにかく前に進んでほしいです。質問じゃないので、返答いただかなくても結構です。（拍手）

【小池】

ありがとうございます。

それでは前の方。

【市民】

私もあの質問ではなくて。特にお話聞いた…。小篠原に住んでいる■■■■というものです。まず最初に、本日詳細なお話をいただきまして、ありがとうございました。とてもわかりやすい資料で。先立って医師会の方からチラシが届いて、なんだこれとは、私も思った1人なんです。そういったあそこに書かれていた点についても詳細につっこんで、よく書かれていまして、非常に合理性があるんじゃないかと思っております。

いろいろ意見はある方は居られると思うんですが、私も駅前に造るよりは、とにかくこっちに造った方がいいんじゃないかと考えていますし、本日のお話を聞く限り、非常に合理性の高い話だと思えました。

先だった提案に当たりまして、これだけの調査ですとか資料作成ですとか、いろいろ市の方々に忍ばれた部分があるんじゃないかと思ひまして、ひとまず何か本日のまでのところ、お疲れ様でございました。ありがとうございましたということです。はい。

ちょっと私も■■■■の関係者で、体育館を利用する側からの、ちょっと意見というか、要望というか、状況がありまして。あの体育館で何か行事があるというときは、やはり朝の9時とかに、体育館のオープン前から当然人が集まってきますし、そういったところの待機スペース等がありますので、そういったところの確保いただけるとありがたいですし、あの終わり際と始まりのときに、一気に混雑するっていう傾向がありますので、そういったところに病院の方に邪魔にならないように設計いただければと。細かい設定は、当然、これからされていくと思ひますんで、関係する部門といろいろ調整していただければと願っております。

ちょっと気になったのは、駐車所。病院の駐車場は有料ですね、大体。今まで、フリーで、気軽にぱっと入って留めてきやすかったんですけど、駐車券を通せとかになるんだらうかとなると、今まで無料だったものが有料になりますということには。当然、しないとは思ひんですけども、例えば市のスポ少とかそういった民間のスポーツ大会はちょっとわからんですけども、公共的な面で利用するという場合には、ちょっと、当然、無料になるだらうと願っております。ただ、やっぱり駐車券導入ということになれば、減免の措置とか、そういったところでの混雑が想定されますので、ちょっとそのあたりを、純粹に体育館を利用する場合だけの人たちのために、ちょっとスムーズに出入りできるような設計というの、ちょっと検討いただきたい。で、当然、その子どもを朝送るだけで、子どもを降ろしたらさっと出ますっていう人たちもいますし。そういったところに我々の利用っていうのはもちろんなんですけども、やっぱりその病院の外来とか、通院の方とか、緊急車両とかに妨げにならないような設計を、よくご検討いただければと思っております。はい。

大変前向きに進めていくべき話じゃないかなと思っておりますので、頑張ってくださいと思っております。

以上です。

【駒井】

はい。■■■■様、ありがとうございました。慰労までいただきまして、激励いただきましてありがとうございます。ご質問いただいてる、まず駐車場の無料の件でございますけども、たちまち開院の段階では、無料で考えております。今のやり方と全く一緒で、ゲートに関しては設けないという考え方でおります。そもそも周辺にそこを利用して出かける施設がございませんので、する必要がなかろうという考え方で今後もやっていきたいと思っております。

あと今日、体育館の横ということで、■■■■含め、あるいは■■■■さん、あるいは■■■■さんの方からたくさんご意見いただきました。が、こういった折々の場でご意見をいただいているだけでは少し足りないのかなあというように感じております。従いまして、例えばこれは、地域医療政策課の課長の立場で申し上げますと、より細やかなそういった検討設計などの機会に具体的に参画して

いただけるような仕組み、スポーツ関係の方の参画の仕組みが、これはむしろ必要ではないかなと、今日気づきをいただいたところでございます。どういう場でどういうお立場で、というところまでははっきり申し上げられませんが、ぜひとも今回の病院整備にスポーツ関係の方にも積極的に参画いただいて、ご意見ご質問をいただく場など、考えていきたいなという思っているところがございます。

ありがとうございます。

【小池】

はい、それじゃ最後。

【市民】

北野の■■■■です。

市長選のときにですね、前山仲市長の選挙事務所へ行って、こう申し上げました。病院を建てる建てるって、8年経っても何にもできてないじゃないか。実力がないんでしょう。と。

ということで、栢木市長に投票しました。その結果、こういう状況であります、とにかく早く、もう議会も賛成してるわけですから、早く建てる。これに尽きるわけですね。

ただ、駅前で B 地区がどうのこうのというあたりでは、もう公約をして一時1年ぐらいはずっと言われるかもわかりませんが、もう A B もうまぜこぜにしてやってもいいんじゃないかというふうに思ってたけども、とりあえず進めると。体育館関係者の方からは、特に横に病院があつてはいかんというご意見ではなかったと思います。県立総合病院なんか横に墓がありますから。それに比べりゃもう非常に健康な建物ですから。もう、自信を持って進めていただきたいというふうに思います。

以上です。はい。

【小池】

ありがとうございました。

本日いただきましたご意見等につきましては、始まる前に申し上げました、今後、市民病院整備を図るための参考とさせていただきます。よりよいものとなるように、取り組んでまいります。

それでは皆様たくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。

最後に閉会にあたりまして、副市長の佐野よりご挨拶を申し上げます。

【副市長】

はい、本日はいろいろなご意見をいただきまして、ありがとうございます。賛成反対、いろいろな意見あると思います。また、いろんな課題につきましては、いろいろご指摘をいただき、それを我々としましても真摯に受け止めさせていただいて、より良いものに、より良い病院にするように、努力、努めてまいりたいと思いますので、今後とも引き続きご指導よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上でご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。（拍手）